

幼児にとって漢字は覚えやすい

さて、時間が終りに近づいておりますので、急いで結論に持って行きたいと思いますが、「幼児にとって漢字は最も覚えやすい文字である」ということ、幼児にとっては、漢字ほど覚えやすい文字は世界のどこにもありません。まずこのことを認識してほしいと思います。これは現にアメリカでも有名なドーマン博士が認めていて、その研究所では、アメリカの三歳の子ども達私私の主張する方法で漢字を学習しています。アメリカの子ども達かどんと漢字を覚えて、これを読んでいるのです。そのくらい漢字は覚えやすい字なのです。こうして漢字を覚え、漢字を読むことによって子どもたちの知能を向上させること、これがドーマン博士のねらいだと思います。

さて、幼児期の幼児にどのくらい漢字が覚えられるかと言いますと、およそ 1,000 字だったら容易であろうと考えております。現在私の主張する漢字教育を実践している幼稚園が全国に 400 園近くございます。私の言う通りにやってくれている幼稚園でしたら、在園している間

に大体 1,000 字は覚えるようです。1,000 字の漢字を覚えますと、これは恐らく現在の高校生の漢字力の平均に近いだろうと思います。私は正確な調査をしたことありませんから断言できませんが、今の高校生の漢字は恐らく 1,000 字までに行っていない、800 字くらいではないかと思っていますのです。私はこの間ある幼稚園に行きましたが、1,000 字以上の漢字をもうすでに読めるようになった子どもがいて、中学生のお兄さん、お姉さんがあって、それが読めない漢字があると、幼稚園のその子に教わる、という事実を聞きました。これは不思議のようで、実はもう当り前のことなのでして、学ぶべき時期に学ばなければこういうことになるわけです。ですから、幼児期の間こういう教育を行たって読書力を高めておく。そうすれば子ども達はテレビなどは余り見たがらない、漫画などはほとんど見向きもしない、堂々たる本を楽しんで読むようになるわけでありませう。